

【第12期常任理事会第2回会議議事録】(抄)

日時 2021年12月17日(金) 14:00-18:30

場所 Zoom オンライン会議

出席 赤松美和子、家永真幸、大東和重、上水流久彦、川上桃子、北波道子、洪郁如、菅野敦志、冨田哲、福田円、松金公正、松田康博、山崎直也(以上、常任理事)、三澤真美恵(理事)

主宰 松田康博(理事長)

書記 五十嵐隆幸(幹事)

【報告】

1. 理事長・事務局

(1) 松田理事長

特になし。

(2) 川上事務局担当理事

設立以来、事務局で引き継いできた保管物(学会報バックナンバー在庫、古いパソコン等)を処分した。

2. 各業務担当

(1) 川上総務担当理事

前回の常任理事会(2021年7月30日)終了後、入会6件、退会5件、シニア会員への移行1件をメール審議で承認した。

(2) 山崎会計財務担当理事

配付資料にもとづき、前回の常任理事会後の主な支払いについて報告がなされた。学会費のクレジットカード払いの導入については議題として検討する。

(3) 福田広報担当理事

配付資料にもとづき、学会ホームページ、学会ブログ、メーリングリスト登録状況、ウェブサイトリニューアルの準備状況について報告がなされた。

(4) 赤松ニュースレター担当理事

来春発行予定のニュースレターの編集状況について報告がなされた。

(5) 松金編集委員長

配付資料にもとづき、『日本台湾学会報』(第24号)の投稿、査読状況について報告がなされた。

(6) 冨田企画委員長

配付資料にもとづき、第24回学術大会の応募、審査状況について報告がなされた。

(7) 菅野・洪国際交流担当理事

配布資料にもとづき、対外発信プロジェクト（優秀学会賞論文の英訳支援）、IJTS への書評推薦の進捗状況、WCTS への派遣など、国際交流事業について報告がなされた。

（８）洪文献目録担当理事

戦後日本における台湾関係文献目録にかかる事業の終了に関する報告がなされた。

3. その他

特になし。

【議題】

1. 第 24 回学術大会（2022 年 5 月 28 日～29 日）について

（１）大会プログラムについて（冨田企画委員長）

分科会企画 4 本（うち 1 本は台湾文学学会員から）、自由論題報告 12 本の申請があった。プログラム案については、開催方式決定後に準備する。

（２）会場校の準備状況、大会予算案等について（福田実行委員長）

配布資料にもとづき、学術大会の準備状況および予算に関する報告がなされた。

2. 日本台湾学会学術賞、同特別賞の選考について（三澤理事）

配布資料にもとづき、推薦要領（案）などについて審議を行い、承認した。同賞に関する財源についての検討の必要性が提起された。

3. 学会ロゴの作成について（赤松理事）

配布資料にもとづき、学会ロゴに関する審議が求められた。2021 年 12 月下旬から 2022 年 1 月中旬にかけて会員投票を行い、5 月の学術大会でお披露目する予定である。

4. アジア政経学会 2022 年度春季大会／秋季大会における合同分科会の提案について（松田理事長）

アジア政経学会からの提案を受け、同学会の 2022 年度春季大会で台湾学会会員によるセッションを設ける方向で準備を進める。

5. 学会費のクレジットカード払いの導入について

業者からのプレゼンを受けて学会費のクレジットカード払いについて審議を行った。メリット・デメリットを勘案し、各常任理事からの質問を業者に確認し、その回答を踏まえて次回の常任理事会で継続審議する。

6. 事務局への寄贈書籍および事務局の文書保管について（川上総務担当理事）

事務局への寄贈書籍の活用について審議を行った。今後の活用方法については、学会ウェブ

サイト上に掲載する。

7. 会員の入退会について（川上総務担当理事）

入会申請1件が承認された。

8. 次回常任理事会の日程について（川上総務担当理事）

学術大会の準備状況に照らし、2022年3月から4月の金曜日に実施する。

以上